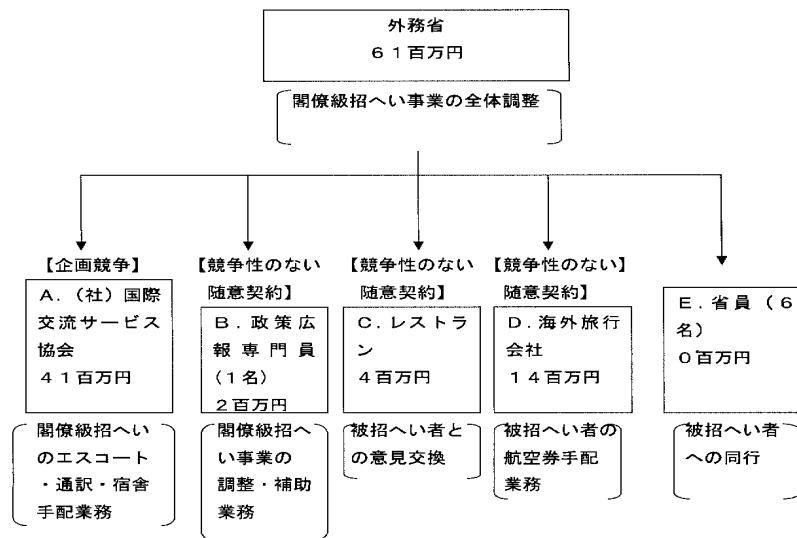


平成24年行政事業レビューシート (外務省)										
事業名		閣僚級招へい		担当部局庁	外務報道官・広報文化組織			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度				担当課室	広報文化外交戦略課			課長 米谷 光司		
会計区分		一般会計		施策名	Ⅲ－1 海外広報, 文化交流					
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第24条		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		政治決定や世論形成に大きな影響力のある諸外国の閣僚級のオピニオンリーダーを招待し、我が国要人・有識者との懇談、主要都市・施設の視察・取材等を通じて対日理解を深めさせる。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		政治決定や世論形成等に大きな影響力のある諸外国の閣僚級のオピニオンリーダーを1件1名で訪日招へいし、我が国要人や有識者等との会談、視察等を行わせる。								
実施方法		■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	137	121	91	75	65		
			補正予算	—	—	—	—			
			繰越し等	—	—	—	—			
			計	137	121	91	75	65		
		執行額		120	89	61				
執行率(%)		87.4	73.7	66.7						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
		招へいを通じた日本への理解促進			成果実績		1.6, 1.4, 0.9	2.1, 1.0, 2.8	1.8, 2.6, 4.0	1.9, 1.5, 3.0
		オピニオンリーダー: 1件平均の①政務官以上, ②その他国会議員, ③経済団体・企業幹部との会談・面談回数(右欄の成果実績は①～③の順の数字(単位:人))。なお、達成度の後ろのカッコ内は当該年度の目標値。			達成度	%		117%(1.8), 67%(1.5), 280%(1.0)	100%(1.8), 173%(1.5), 400%(1.0)	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		閣僚級のオピニオンリーダーの招へい			活動実績 (当初見込み)	人		21 ()	29 {35}	— {27}
単位当たりコスト		2, 087千円/件			算出根拠	60, 524千円(実施額)/29件(実施件数)				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	渡航・滞在費		72	65						
	謝金		2	—						
	国内旅費		0.3	0.2						
計		75	65							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	諸外国の要人に広く我が国のことを知らしめ、対日関心の増進を図ることは、国民のニーズがあり、優先度が高い国が実施すべき事業と言える。本事業で生じた不要金額の理由については、把握している（基本的に先方都合のキャンセルによるもの）。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	接遇業者の選定は企画競争により適正な競争を確保している。案件毎のコストは厳に必要なものへの支出に限定する等、コスト削減に努めている。本事業の受益者は被招へい者であり、招へいプログラムであっても、あくまでも同者の個人的な支出は負担させる等、負担関係は妥当と言える。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	対日理解を広げる目的において招へいは、一般的且つ実効性の高い手段と言える。成果目標は招へい効果が相対的に高い人物との面談回数という明確で適当なものであり、また、達成度は年々着実に向上している。活動実績は、基本的に適正範囲内と判断できる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	諸外国の政策決定や世論形成に影響力のある要人を通して国民に対し働きかける本スキームは、我が国の国際場裏でのプレゼンスや国際的イメージを高めるために直接的な効果があり、その意味で、国益や国民のニーズに叶う優先度の高い事業であると考えられる。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直しによる減		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	招へい人数等の見直しによる減		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
●事業仕分け（第一弾）の対象。 「事業番号・事業名」：2－53、招聘事業に要する経費 「WGの評価結果」：予算要求の縮減（1／3程度） 「とりまとめコメント」：招へい対象となる報道関係者の選定に係る一定の条件付け（例：記事執筆）。日本留学会議の廃止。スポーツ交流支援事業については、文部科学省との役割分担を見直し。 ●我が国外交政策の円滑な遂行のためには、諸外国に対し適正な情報を発信し、我が国の実情、諸政策に関する正しい理解を増進せしめることが必要である。本招待により、被招待者を通じて、当該国の国民や政策担当者等に働きかけたり、広報媒体を通じて日本について情報を発信することは、極めて効果的である。 ●平成23年度は「閣僚級招へい」に予算事業名を変更した。 ●平成23年度において、「高級実務者招へい」と統合した。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	238	平成23年行政事業レビュー	230

個別事業名：

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を行
っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



個別事業名：

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.(社)国際交流サービス協会(ポーランド)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	移動費	国内切符(含むエスコート)	0			
	宿泊・食費	東京、広島、京都(含むエスコート)	0			
	借料	車借り上げ	0			
	人件費	通訳、エスコート	1			
	雑費	入場料等	0			
	管理費	接遇業務全体の管理経費	0			
	計		2	計		0
	B.個人A			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	臨時職員雇用	2			
	計		2	計		0
	C.(株)帝国ホテル			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	会議費	被招へい者との会食	1			
	計		1	計		0
	D.トップツアー(株)			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	渡航費	国際航空券	2			
	計		2	計		0

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス協会	被招へい者へのエスコート・通訳・宿舎手配	41	3	企画競争
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	関係級招へい事業の調整・補助業務	2	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)帝国ホテル	被招へい者との意見交換	1.3	随意契約	
2	明治記念会館	同上	0.4	同上	
3	(株)ロイヤルパークホテル	同上	0.3	同上	
4	(株)なだ万	同上	0.3	同上	
5	(株)ひらまつ	同上	0.3	同上	
6	(株)食文化総研	同上	0.2	同上	
7	(株)東急ホテル	同上	0.1	同上	
8	(株)明治座ダイニングプロモーション	同上	0.1	同上	
9	(株)銀座車屋	同上	0.1	同上	
10	メッドサポートシステムズ(株)	同上	0.1	同上	

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	トップツアー(株)	被招へい者の航空券手配業務	1.7	随意契約	
2	(社)国際交流サービス協会	同上	1.6	同上	
3	JAPAN AIRLINES	同上	1.1	同上	
4	LINDA TRAVEL AGENCY	同上	1.1	同上	

5	RESA FIAB OUAGADOUGO	同上	0.9	同上	
6	Yemenia Airways	同上	0.8	同上	
7	TTI Travel	同上	0.7	同上	
8	ミッキーツアー	同上	0.7	同上	
9	(株)阪急阪神ビジネス ラベル	同上	0.7	同上	
10	TRL Travel	同上	0.7	同上	

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	被招へい者への同行業務	0		
2	個人B	同上	0		
3	個人C	同上	0		
4	個人D	同上	0		
5	個人E	同上	0		
6	個人F	同上	0		
7					
8					
9					
10					